

みんなが助かる ＜インクルーシブな地域防災＞を 目指して

参加費無料



あなたの学びを あなたのカタチに

九州医療科学大学
Kyushu University of Medical Science

令和7年度地域創生事業 連続講座【共催】延岡市

宮崎県内でも毎年のように災害が発生する中、災害時に誰も排除されず、
みんなが助かる＜インクルーシブな地域防災＞の実現が求められています。

九州医療科学大学では、「令和7年度地域創生事業」にて、
「災害」をテーマに研究・活動を行っている教員による、4回連続の市民向け講座を企画しました。
興味のある回だけへのご参加でもけっこうです。地域の防災に関心がおありの方は、ぜひお運びください。

1

「キックオフシンポジウム」

2025年11月8日(土)13時-15時 (受付: 12時30分～)

【会場】延岡市役所 講堂

【講話】三浦 久知(延岡市長) 【パネリスト】川崎 順子・三宮 基裕・徳永 仁・加藤 謙介



「キックオフシンポジウム」のみ
のべおかCOIN 200pt付与

2

「薬で安心をつなぐ～災害時に困らないための知恵と工夫～」

2025年12月17日(水)19時-20時30分 (受付: 18時30分～)

【会場】延岡市社会教育センター 研修室1 【講師】徳永 仁(薬学部)

3

「みんなが助かる地域防災と『ペット』」

2026年1月10日(土)14時-15時 (受付: 13時30分～)

【会場】延岡市社会教育センター 研修室1 【講師】加藤 謙介(臨床心理学部)

4

「住まいの安全を再点検」／「みんなで個別避難計画」

2026年2月11日(水/祝)13時30分-15時30分 (受付: 13時～)

【会場】延岡市役所 講堂 【講師】三宮 基裕・川崎 順子(社会福祉学部)



【参加申込】裏面項目に記入の上FAX もしくは 右QRコードから

【FAXによる講座申込】 0982-23-5530 (九州医療科学大学)

以下の項目にご記入の上、FAXにてお申し込みください（番号間違いにご注意ください！）

【代表者氏名】（ ）

【参加を希望する回に、（ ）内に「○」を付けてください】

【参加を希望する回に、[]内に「参加人数」を記してください】

（※資料印刷などのため、各回の参加人数の回答にご協力ください）

（ ） [] 人【第1回】キックオフシンポジウム

【日時】2025年11月8日(土)13時-15時

（ ） [] 人【第2回】薬で安心をつなぐ～災害時に困らないための知恵と工夫～

【日時】2025年12月17日(水)19時-20時30分

（ ） [] 人【第3回】みんなが助かる地域防災と『ペット』

【日時】2026年1月10日(土)14時-15時

（ ） [] 人【第4回】住まいの安全を再点検／みんなで個別避難計画

【日時】2026年2月11日(水/祝)13時30分-15時30分

【九州医療科学大学 令和7年度地域創生事業 連続講座：講師紹介】



川崎 順子（社会福祉学部・教授）

専門は地域福祉学。延岡市わが家の防災ハンドブック作成検討委員や災害ボランティア連携方針策定検討委員などに携わる。博士（社会福祉学）・社会福祉士。



徳永 仁（薬学部・教授）

薬局・病院・ドラッグストアで薬剤師業務を経験。東日本大震災や熊本地震で医療支援に従事。現在はシミュレーション教育や災害医療に取り組む。博士（薬学）・医療薬学専門薬剤師・指導薬剤師・災害医療認定薬剤師。



三宮 基裕（社会福祉学部・教授）

専門は建築計画・都市計画。主に高齢者や障がい者に配慮した住まいについて研究を行う。延岡市津波避難施設等の整備・確保に関する検討委員に携わる。博士（工学）・一級建築士。



加藤 謙介（臨床心理学部・教授）

専門は社会心理学。人の「こころ」や「くらし」の問題について「人と動物の関係」から研究を行う。熊本地震での支援活動の経験から「人とペットの災害対策」に関する研究・実践に取り組んでいる。博士（人間科学）。